

## ☆ねらい

「事実」と「感じたこと」を組み合わせて4文以上の日記を書くことができる。

## ☆扱う場面

- ・学年 2年
- ・be動詞の過去形を学習した後の自己表現活動
- ・授業の最初の5分の帯活動として数人ごと発表させることも可能
- ・所要時間 作成時間：作成時間 20分～30分程度 添削：人数による

## ☆指導の手順と留意事項

学習活動	指導の仕方・留意点等
① worksheet を使い、2つの例文の英語日記を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AパターンとBパターンの例文を読み、どのような内容が書かれているか確認をする。</li> <li>・一度音読をさせる。</li> </ul>
② vocabulary sheet を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語の確認：単語の音読練習をする。</li> </ul>
③ 例文を参考に、AパターンかBパターンのどちらの日記の書き方にするかを定める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて英語日記を書く時は、内容を決めるのに時間がかかるため、パターンを決めさせておく。</li> </ul>
④ それぞれの例文を参考に4文以上の英文で日記を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例文のパターンと vocabulary sheet を参考にしながら、英文を作成していく。</li> <li>・<u>時制（動詞）を過去形にするよう注意を呼び掛ける</u>（規則動詞/不規則動詞の注意）</li> <li>・書きたい内容が vocabulary worksheet の中に入らない場合は辞書を使う。</li> <li>・英作文を得意とする生徒は例文パターン+αで作成を進めさせる。</li> </ul>
⑤ 教師の添削を受ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が、生徒の英作文での時制、規則動詞/不規則動詞の使い方、スペルミスの確認をしていく。</li> </ul>
⑥ ペアやグループ、または全員の前で発表する。）	